

事務事業評価シート (評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	公民館運営事業				②事業番号	7701	
③事業類型	2. 法上(任意)事業			④開始年度	昭和 23 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	○ 法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市民立公民館条例
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	8	細目 2 4 5
⑨担当部名	教育部			⑩担当課名	文化振興課		
						会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 市民	人数
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
○公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について調査・審議することを目的とするため公民館運営審議会を設置。 ○中央公民館としての榊井公民館と信達公民館、新家公民館、西信達公民館の管理・運営・改修を実施。 ○生涯学習の講座や市民・団体のサークル活動の拠点として利用している。 ○休館日：火曜日、祝日、12月29日から翌年1月3日 ○利用時間：午前9時から午後10時、月曜日は正午まで。 ○施設使用料：有料 ○夜間業務は、泉南市シルバー人材センターに委託。	① 登録クラブ数	団体数
	② 開館日数	日数
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
円滑な事務手続きによって、対象である市民の利便性と公民館利用の促進を図る。	① 利用者数	人数
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
公民館利用者や地域住民との交流、そのことによる新たな広がり創造する。 (1-4-2-2)生涯学習活動や教養文化の向上に繋がっている。	政策(章) 1	すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節) 4	だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中 2	生涯学習内容の充実
	施策小 1	活動・発表・交流の場と機会の提供

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標① 市民	人数	61,984	61,457	60,795	—	—	R2年度は新型コロナウイルス感染症対策の非常事態宣言により休館するなど、利用者数が減った。
対象指標②							
活動指標① 登録クラブ数	団体数	116	119	106	99	—	
活動指標② 開館日数	日数	290	285	250	—	—	
活動指標③							
成果指標① 利用者数	人数	51,981	50,209	24,643	60,000	60,000	
成果指標②							
成果指標③							
事業費	投入人員						事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	1.13	1.25	1.35	1.35	
	任期付職員	人	2.85	3.00	2.85	2.85	
	臨時職員	人	0.65	0.80	0.80	0.80	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	19,591	21,198	20,321	20,321	R2新家公民館外壁アスベスト調査、改修工事設計委託
	直接事業費	千円	16,034	15,370	16,309	14,342	
	総事業費	千円	35,625	36,568	36,630	34,663	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	R2新型コロナウイルス感染症対策として、新家公民館エアコン更新、サーマルカメラ4館分購入
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	5,135	4,251	2,929	5,264	
	その他特定財源	千円	102	432	457	415	
	一般財源	千円	30,388	31,885	33,244	28,984	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	社会教育法により公民館の有効活用を目指すと共に、地域に根ざした公民館活動を行ったこと。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	公民館は、公民館まつり、館の主催事業、行政、また市民や各種団体による様々な活動に利用されており、今後とも、より地域に根差した活発な公民館活動が展開されると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	市民ニーズは多様化、高度化しており、限られた予算のなかで創造と工夫を凝らして対応している。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	多様な学習機会の提供、自発的な学習機会の援助、地域活動の拠点として機能を備え、その成果が得られていると考える。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	施設・設備の整備や職員の資質向上、事業内容の創意工夫を通じ利用率の向上や市民の自主活動の活性化を図ることができる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	社会教育法との関係で、他の機関との統廃合はできないが、連携を行うことは可能と考える。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	各公民館は経年劣化が進んでおり、維持管理に要する費用は今後も増大する可能性が高いため、コストの削減は難しい。社会教育施設として運営するためには現状の手法以外は難しい。
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	B	多種多様な、高度化する市民のニーズに合った事業を企画するとともに、関係各課と連携した効果的な公民館運営を実施していく必要がある。 また、コロナ禍に対応した従来とは異なる新たな視点をもった事業推進を探る必要がある。

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)

①改革、改善の具体案、実施年度など	市ウェブサイト等を利用した情報の発信・提供。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	市ウェブサイトでは、現在、動画の配信ができないため、Youtubeなどの他のサイトへアップロードし、リンクにより対応していくことも考えられる。